

国内での取り組み

当社保有 「日本の塗料工業の発祥を示す資料」が 化学遺産に認定

○ 2015年3月、当社が保有する「日本の塗料工業の発祥を示す資料」が、公益社団法人 日本化学会より化学遺産として認定され、認定証が授与されました。

洋式塗料の国産化は、1881(明治14)年に当社の前身である光明社が設立されたことに始まります。茂木春太・重次郎兄弟は1878年に高純度亜鉛華の製法を確立し、翌1879年には洋式塗料である堅練り塗料の製造に成功しました。さらに、塗装現場で希釈する必要のない溶解塗料「塗具(ぬりぐ)」を開発し広く塗料が普及する始まりとなりました。当社には、光明社で製造された亜鉛華をはじめ、当時作られた塗板見本額など、日本における塗料工業の発祥とその変遷を示す貴重な資料類が保存されており、これらが化学遺産として価値あるものとして認められました。

当社では歴史資料の保全に努めるだけでなく、さまざまな工夫で多くのステークホルダーの皆様塗料の歴史や塗料に関心を持っていただく機会を創出していきたく考えています。



授与された化学遺産認定証



1881(明治14)年に塗られた塗板見本額



光明社看板

大阪府の大規模災害時に役立つ ヘリサイン整備に 当社グループが引き続き協力

○ 大規模災害については国や自治体、企業などがさまざまな対策を検討していますが、当社の本社所在地である大阪府でも南海トラフ巨大地震時の災害を想定した対策を検討・実施しています。

当社は大阪府と協力し、2007年、2013年と二度にわたり大規模災害時に特に重要となる「ヘリサイン整備事業」をすすめてきました。大規模災害発生時の救援物資の輸送や傷病者の搬送のために府外から参集する救援ヘリコプターが、飛行区域を一目で識別できるように建物の屋上に表示される施設名称が「ヘリサイン」です。

当社は、大阪府の地域貢献企業制度(企業の社会貢献・地域貢献活動と大阪府の施策をマッチングするシステム)を通じて、大阪市立豊崎中学校や大阪府立美原高校など大阪府内10ヶ所の施設に対して当社関連会社である日本ライナー株式会社が塗料提供および塗装工事をを行い、ヘリサインを整備しました。



大阪府立美原高等学校(堺市美原区)



大阪市立豊崎中学校(大阪市北区)

大阪府のすべての公立小学校に防犯意識の向上を 目的とした「5つのやくそく(安全標語)」を掲載した パネルポスターを寄付

○ 当社は社会貢献活動の一環として、子どもの防犯意識向上のための「5つのやくそく」を掲載したパネルポスターを製作、公益社団法人 大阪府防犯協会連合会へ寄付し、2015年6月に大阪府下すべての公立小学校に配布されました。

「5つのやくそく」は、子どもたちが日頃から適切な防犯行動ができるように使われている標語です。当社は2008年にも大阪市と堺市の小学校約400校に寄付しましたが、今回は、より多くの子どもたちの防犯意識の向上に資することを目的とし、大阪府の小学校約1,000校へ寄付しました。

製作にあたっては、大阪芸術大学グループの学生を対象に原画をコンペティション形式で募集。多数の応募の中からデザイン学科川崎奈津美さんの原画を最優秀作品に選び、作成しました。また原画には、当社グループ会社であるニッペホームプロダクツ株式会社のDIY向け塗料が使われています。

本取り組みに対しては、2015年5月20日に大阪府警察本部から寄付に対する感謝状をいただいています。



感謝状授与式

「夏休み子ども化学実験ショー2014」に 協力

○ 2014年8月2日(土)・3日(日)の2日間、「夏休み子ども化学実験ショー2014」が東京の科学技術館で開催され、当社もブースを出展しました。

このイベントは毎年、次世代を担う子どもたちやその保護者など、広く一般の方々に化学の面白さや不思議さ、化学産業の社会への貢献などについて知っていただくために開催されています。

当社のブースでは、「塗料と電気の実験〜カラフルなマイ・クリップをつくらう!〜」というタイトルで実験教室を開催。小型水槽に5色の塗料を準備し、乾電池式電着装置で、ステンレス素材のクリップメジャーにカラフルなアニオン塗装を体験していただきました。

2日間で合計約350名の子どもたちが参加し、仕上がったクリップに子どもたちから歓喜の声があがっていました。

実験ショーをきっかけに、一人でも多くの方に当社や化学の「ファン」になっていただけることを願っています。



「夏休み子ども化学実験ショー2014」の様子

社会性報告

社会性報告

経営理念「共存共栄」の精神に基づき、社会とのつながりを重視した活動を行い、国内外において、地域と密着した社会貢献活動に取り組んでいます。

社会との
かかわり

アジアでの取り組み

「Renew Your World」プロジェクトへの協力

「Renew Your World」は、日本ペイント・シンガポールと世界的な非営利の医療団体ORBISが協力して取り組むプロジェクトです。日本ペイント・シンガポールが資金を提供し、ORBISがパートナーとして活躍するこのプロジェクトでは、失明、白内障、緑内障などの深刻な眼病を抱えるアジアの子どもたちを支援し、治療しています。2014年12月までの間に、少なくとも440名の眼病をかかえる子どもたちに治療を提供しています。

「Color, Way of Love」キャンペーンに参画

2012年より日本ペイント・台湾が参画している「Color, Way of Love」キャンペーンは、地域の学校や施設に塗料を寄付することで、学習環境を改善し、校舎や施設の生活空間を美しく変える取り組みです。

2014年には、貧しい家庭に生まれた子どもや家庭内暴力で傷ついた子どもを受け入れている睦祥育幼院を対象に、ボランティアのアーティストが中心となって「ブライト・サイト・プロジェクト」を実施。老朽化した教室などを室内用塗料や用具を使用して塗りなおしました。単に校舎を美しくするだけでなく、ボランティアや子どもたちの共同作業を通じ、自分たちを取り巻く世界は自分たちの手で変えていけるのだという思いを広げていく機会となることを目指しています。

「Colourful Dreams」プロジェクトへの協力

「Colourful Dreams」は、日本ペイント・マレーシアと非営利団体のパーサチュアン・カバジカン・ジェネラシ・ジェミラン(PKGG)が協力して進めているプロジェクトです。「今日のための喜びを、明日のための希望を」をテーマにしているこのプロジェクトでは、2014年より新しいプログラムとして、読み方とお絵かきを通じて子どもたちに学習する喜びを感じてもらう「カラフル・リーズ」、創造性の育成に主眼を置いた「カラフル・ピカソ」の2つの取り組みを始めました。また、2014年12月には第1回「子どもによる子どものためのカラフル・ドリームズ・アート展」を開催、3つの施設からの作品が展示されました。

「Nippon Paint Young Designer Award」の開催

2008年、NIPSEAグループでは、Nippon Paint Young Designer Awardをアジアで立ち上げました。年に一度開催されるこのイベントは、アジアの若手インテリア・デザイナーや建築家の革新的な取り組みを促すほか、今後の持続的な発展を目指して、グリーン・デザ

インのコンセプトを広めることをねらいとしています。

「RE:Think. RE:Create. Our Community, Our Home(私たちのコミュニティや家を、考えなおし、創りなおそう)」をテーマに開催された2014年は、香港とフィリピンが初参加、アジア10ヶ国での応募総数は2,303点となりました。デザインと建築それぞれの最優秀受賞者を対象とした学習プログラム

では、アジアの著名な建築家やインテリア・デザイナーが指導し、国境を越えた学びの場を提供しています。



Nippon Paint Young Designer Award 表彰式

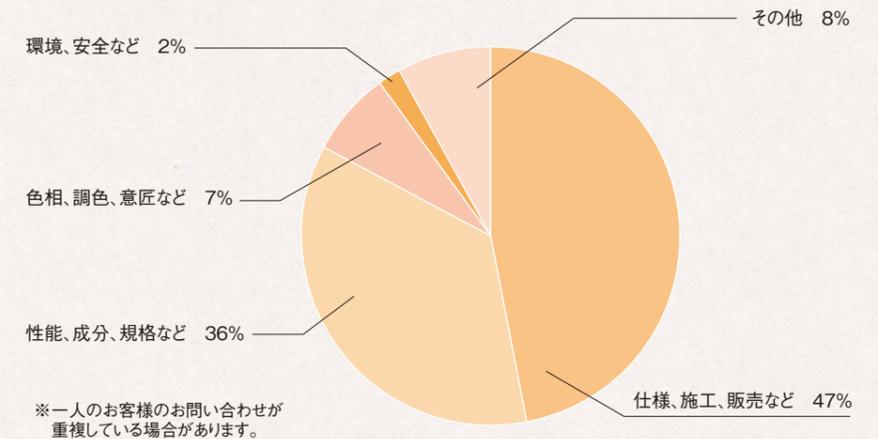
日本ペイント お客さまセンター

汎用塗料製品についてのご質問・ご相談を受け付けて適切な対応を行っています。お問い合わせやご意見、ご要望、クレームなどの各種情報は、日本ペイントの製品・サービス提供の改善などに役立てるべく、集約・データベース化しています。

また、その他の塗料・製品へのお問い合わせについては、下記ナビダイヤルにてご質問・ご相談を受け付けています。

ナビダイヤル 0570-200-684

2014年度のお客さまセンターへのお問い合わせ内訳



社会との
かかわり

体制強化に努めています。

お客様に貢献できる

塗料メーカーとして広く

お客様との
かかわり